

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	看護学科 医療栄養学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18007	1	前期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	経済学 (Economics)				
担当教員名	関口 博久				
授業の概要及び到達目標					
<p>経済学とは、効率性、公平性といった観点から、さまざまな経済現象を分析する学問と考えます。具体的には、景気の安定化、雇用の確保といった問題をはじめ、租税、社会保障など私たちの生活に深く関わるさまざまな問題を研究の対象とします。</p> <p>本授業では、そのような経済学の基本的な考え方を身に着けると共に、現在のわが国が直面する経済問題を理解し、考え、説明できることを目標とします。</p>					
準備学習等					
<p>毎回の授業において、次回の授業で使用する経済学の専門用語等を提示しますので、予習としてそれらの意味を調べてきて下さい。その際には、参考図書、経済辞典や公的機関のHP等を利用することを推奨します。</p> <p>毎回の授業の最初に前回の授業の復習を行いますので、毎回の授業終了後にその内容について復習をしてきて下さい。その際には、配布されたプリントと授業時の板書等を利用して授業の内容を理解するということに努めて下さい。</p>					
成績評価の方法	授業時のレポート 20%、期末試験 80%。				
テキスト	毎回の授業においてプリントを配布します。				
参考図書	<p>※伊藤元重『はじめての経済学（上）』日経文庫（2004）、※伊藤元重『はじめての経済学（下）』日経文庫（2004）、本庄資・岩元浩一・関口博久『現代地方財政論一六訂版一』大蔵財務協会（2018）、高瀬淳一『できる大人はこう考える』ちくま新書（2008）</p>				

備 考	受講生の方々が理解しやすいように、基礎的な概念、用語、仕組みから始めて、さまざまな問題へと進めていきます。 質問等は、授業の前後に受け付けます。 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。
授 業 計 画	
<p>第1回:経済学とは何か</p> <p>第2回:需要と供給</p> <p>第3回:市場と価格</p> <p>第4回:家計と企業</p> <p>第5回:政府の役割</p> <p>第6回:国内総生産、経済成長</p> <p>第7回:財政システム</p> <p>第8回:金融システム</p> <p>第9回:少子高齢化</p> <p>第10回:社会保障</p> <p>第11回:国と地方</p> <p>第12回:国際経済</p> <p>第13回:日本経済の発展(1)</p> <p>第14回:日本経済の発展(2)</p> <p>第15回:日本経済の今後</p> <p>※基本的にはこの授業計画としますが、授業の進行状況等により変更する場合があります。</p>	